

特集 白河を盛り上げる 地域おこし協力隊

協力隊になる前は、IT企業でエンジニアとしてソフトウェアなどの開発業務を行っていました。キャリアの途中から、若手エンジニアの教育に携わるようになったことをきっかけに、人間の発達や成長に興味を持ち、コーチングを学び始めました。その学びを生かし、主に大学生にコーチングや就職支援なども行っていました。



その後も心理学や発達理論を学ぶ中で、成人になるまでの体験が、今後の人生を歩む上で重要な役割を果たすと感じるようになり、学校教育に関心をもちました。白河市が高校のユースワーカーの協力隊を募集していたことに縁を感じ、白河で活動する決意をしまし

た。現在は、白河・白河第二高校のユースワーカーとして、放課後に「第三の居場所」を提供するため、学生と対話を重ねたり「総合的な探求の時間」に、地域で活動する方から学ぶ機会を支援したりしています。このような活動を通して、高校生が安心できる場所を作り、その上で新しい学び方を提供することを目指しています。

地域・家族の方とともに、若者たちを温かく見守りながら、教育に携わっていきたいと思います。



奈良 卓さん

着任：令和6年6月 **活動中**

ミッション：高校生の支援

年齢：39歳
前住所：東京都文京区
趣味：読書



「地域おこし協力隊」とは、人口減少や高齢化が進む地方が、都市地域から地域協力活動を行う人材を隊員として受け入れ、その地域に定住・定着してもらうことで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

任期はおよそ1年から3年で、任期中は隊員それぞれに設定されたミッション（地域課題）に取り組むことで地域の活性化を目指します。

市では、平成27年度から本制度を活用し、令和6年度まで、計13名を受け入れてきました。

現在活動している3名の活動内容と、任期満了で令和7年3～5月に卒業した5名の現在を紹介します。

地域おこし協力隊とは

白河に来る前は、東京で18年間、通信系の会社で営業の仕事をしていました。もともと地方移住に興味があり、会社を辞め、「何か自分でやろう」と考えていた時、地域おこし協力隊が選択肢の一つにありました。そんな中、地域移住に関するイベントで、白河が起業型地域おこし協力隊を募集していたのを見つけました。白河は一度行ったことがあり、縁がある場所だったので話を聞いたところ、自分がやりたいことが叶えられると思い応募しました。都会と田舎のバランスが良く、これから生活するイメージがつきやすかったことも決め手の一つでした。

協力隊になってからは、空き家利活用の促進に関する活動をしています。着任



児山 武士さん

着任：令和7年7月 **活動中**

ミッション：鳥獣被害防止対策

年齢：53歳
前住所：西会津町
趣味：映画鑑賞

大学を卒業してから約30年間、都内で主に銀行などで働いていました。会社員として働く傍ら、趣味で狩猟をしていましたが、そこで高齢化による深刻なハンター不足の現状を目の当たりにしました。自分の体が動くうちにこの課題を解決したいという思いから、退職を決意しました。

課題解決のためには、ハンターの関係人口を増やすことが第一と考え、公の立場で活動ができる地域おこし協力隊を探していたところ、西会津町が鳥獣被害防止対策の協力隊を募集していたのを機に活動を始めました。卒業後、更なる関係人口の増加を目指し、関東圏からアクセスの良い白河で、引き続き協力隊として活動することにしました。

白河では、これまでの経験を生かし、狩猟に興味がある人や学校向けのイベントの開催、鳥獣被害防止に関する講習会など、関係機関と連携しながら活動していきたいです。また、私の狩猟スキルもグッと上がったので、皆さんが安全に過ごすことができるよう捕獲活動にも励みます。

クマやイノシシの出現によって不安な思いをすることがないよう、人と獣の境界線の整備や駆除を通し、皆さんが安全に日常生活を送ることができるよう努めていきます。



伊藤 一也さん

着任：令和5年6月 **活動中**

ミッション：空き家問題解消

年齢：42歳
前住所：千葉市
趣味：ドライブ

後1か月で「白河をワクワクさせる合同会社」を立ち上げ、空き家を取得・修繕した後に、利用希望者に貸し出す事業を行っています。また、空き家利活用の経験をセミナーや相談会も実施しています。

「地域課題を収益資源に」を理念に活動しています。これからも白河を拠点に、地域が持つ課題を収益につなげ、解決するモデルを作っていきたいです。いずれは県全体にも活動モデルを伝えていくのが目標です。



Instagram▶



山口 久弥さん

任期：令和4年5月
～7年4月

こまもり
粕杜工房 工房長

佐川だるま製造所では、白河だるまの製造や、だるまをモチーフにした着ぐるみを作り、市内外のイベントで白河だるまをPRする活動をしていました。

かる作品なので、やりがいを感じており、クオリティーを高くするため日々研究しています。着ぐるみや小物など、形にしたい物があれば、気軽にご相談ください。今後は、白河で着ぐるみを用いたキャラクターのイベントを開催したいと思っています。自分が作った作品を白河の方たちに着てもらい、地域の方たちを巻き込んで楽しいことをしていきたいです。



Lit.Link▶



升井 理映子さん

任期：令和4年6月
～7年5月

ゲストハウス
&
ギャラリー 代表

アートの仕事がしたいと思い、アート振興担当として協力隊になりました。任期中は風月の芸術祭の業務や、谷津田川アートなど、市民を巻き込んだアートの企画・運営をしていました。

トハウスとギャラリーを作っています。この場所を通じて、次の世代の人が、多様な価値観やさまざまな選択肢を知りきっかけになればうれしいです。地域の皆さんと協力しながら、多くの方に楽しんでもらえるような場所を作りたいと考えています。令和8年の始めには完成を予定していますので、気軽に遊びに来てください。



Instagram▶

卒隊した協力隊の、今



久野 宏さん

任期：令和2年4月
～7年3月

MIXED
COFFEE
STAND 代表

主に東地域の振興のため、地域の特産物を使用した商品作りやイベント活動を通じた賑わいの創出、また県外のイベントでコーヒーを販売し、お客様とコミュニケーションを取りながら白河の良さを伝える活動などをしていました。

動の縁で、市内にコーヒーのお店をオープンしました。店名には、地域内外の人たちがつながり合い、この場所から何かが生まれて欲しいという願いも込められています。民間と行政の架け橋として、白河が楽しい場所になるきっかけを作っていました。おいしいコーヒーを味わいにお越しください。



MIXED COFFEE STAND
所在地 中田16番地1



Instagram▶



渡邊 秀幸さん

任期：令和3年7月
～7年3月

和賛行政書士
事務所 行政書士

移住アドバイザーとして、都内のイベントで白河をPRしたり、白河に興味を持ってくれた人に白河を案内したりして、移住者を増やす活動をしていました。

さまざまなお手伝いを通し、市民の皆さまのお役に立てるよう頑張っています。一人ひとりが自分のやりたいことを実現できる環境が、白河の活性化につながると思い、少しでもその支援ができるよう、日々励んでいます。それぞれの夢へ向かうための相談や、些細な困りごと、相談ごとなど、何かありましたら気軽にご連絡ください。



事務所所在地
道場小路96番地5
(産業支援センター内)



Instagram▶

協力隊を募集しています

現在「移住アドバイザー」の地域おこし協力隊を募集しています。移住アドバイザーは、SNSを活用した本市の魅力発信業務や、移住ツアーイベントの企画など、移住検討者への総合的な相談対応やサポートを行います。

応募には条件がありますが、大切なことは「白河を盛り上げたい」という熱い気持ちです。家族や知人などに、ぜひお声がけください。

勤務条件や選考方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。

企画政策課 ☎5500



これからも、協力隊とともに

協力隊になる前の経歴や活動内容はさまざまですが、本市に魅力を感じて都市部から移住し、任期中のミッションを地域とともに解決しようとする熱い気持ちをもって活動しています。他の地域から移住してきたからこそわかる新たな視点が持ち味ですが、どのミッションも地域との連携が必要不可欠です。

また、任期終了後も本市に定住し、任期中の経験を生かして、地域に根付いた活動を行っています。

市民の皆さんも協力隊と一緒に白河を盛り上げていきましょう！



湯本 淳人さん

任期：令和3年10月
～7年3月

映像クリエイター
&
だるま関連
イベント企画

任期中は、主に渡辺だるま店で白河だるまの商品開発や映像制作によるPR、ミニだるま運動会やだるまランドでのイベント運営などをしていました。

住環境が自分にマッチした大好きなまちで、プライベートでも町内会や祭りなどに積極的に参加しています。今後も白河で暮らし、活動を続け、白河に貢献したいと思っています。いずれは会社を立ち上げ、映像制作やイベント運営などを通して、こどもたちが「ワクワクできる」「笑顔になれる」地域を作っていけるような活動をしていきます。



Instagram▶